

妙智會

3月14日本部供養会
本殿大講堂（ライブ配信）
宮本法嗣先生ご指導Vol. 94
2023. 3. 24
1/2

本日は皆さんと共に、東日本大震災の犠牲者へのご供養をさせて頂きました。誠にありがとうございます。

今もまだ行方不明の方、そして大変な環境の中で生活をされている方が沢山いらっしゃいます。

私たちはつい忘れてしまいがちですが、こういう時こそもう一度思い起こして寄り添ってご供養をあげること、二度とこの様な惨事が起きないように、しっかりと佛さま神さまにお願いをして、本日から決意を持ってまた修行して頂きたいと強く願います。

話は変わりまして、先日は靈感修行をさせて頂きました。

この靈感修行で一番大切なことは「人を救いたい、先祖を救いたい。その為にはどうするべきなのか」という事です。

またその時に靈感があっても、入神の時まで靈感があるとは言えません。靈感を保ち続ける修行が必要なのです。

法名入神を頂いた方も、感謝してお願いをして、頂いたお力を使う事が大切です。

そして会主さまの尊い教えをしっかりと受け止めて、既に頂いている方も、これから頂く方も、もう一度自分を振り返り感謝して、頂いたものを活かすご修行をお願い致します。

最後にもう一つお話をさせて頂きたい事があります。それは「大難が小難、小難が無難」という事です。

よく皆さまからもこの言葉を聞きますが、本当の意味をもう一度お話させて頂きます。

例えば「手術の時間が短時間で済みました。大難が小難でした。」など、皆さんは軽く済んだことで納得してしまいます。

しかし、私たちの「大難が小難」は、落とし穴に入ってしまった所に、霊界が梯子を掛けて下さっているものであり、霊界へ借りを作ってしまっているのです。

よく会主さまは「借金だらけでどうするのですか。亡くなるまでに返せるのですか」と私達にご指導を下さいました。

妙智會は事前に落とし穴があるということを教えてくださるんです。

皆さんは落ちてから梯子が降りてきたことを喜ぶのです。

本当の妙智會の教えは、落とし穴には行かないのです。

先ほどの靈感修行と同じように、本当に感謝して修行していきますと病気にならず、妙智會の正しい真意の「大難が小難、小難が無難」を体験する事が出来るのです。

もっと先祖供養をさせて頂こう、お導きをさせて頂こう、これが妙智會なのです。

会主さまは「妙智會は真理そのものです」とおっしゃいました。奇跡が起こるのが妙智會なのです。

皆さまに会主さまの教えをもう一度強くお伝えをして、本日のご指導と致します。

会主さま、大導師さまの祥月命日であります今月に、こういうお話ができてとても嬉しく思います。

本日はありがとうございました。